

事業名	高品質果実生産推進事業費			調書番号	88
細事業名	果樹品質向上対策事業費	財務コード	054103		
担当部課室	農政 部 果樹・6次産業振興 課 果樹 担当 (内線)	5213			

事業の概要

実施期間	始期 S45 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	全国農業協同組合連合会 山梨県本部(補助)						
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>市場関係者 果樹(ブドウ、立木)を生産する農家</td> <td>本県青果物の生産・流通に貢献した者を表彰し、市場との連携が強化されている。共進会により高品質果実を生産する者を表彰し、生産意欲が高まっている。</td> <td>本県果樹、野菜産地の維持発展 本県果樹農家の高品質な果実生産と果樹産地の維持発展</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	市場関係者 果樹(ブドウ、立木)を生産する農家	本県青果物の生産・流通に貢献した者を表彰し、市場との連携が強化されている。共進会により高品質果実を生産する者を表彰し、生産意欲が高まっている。	本県果樹、野菜産地の維持発展 本県果樹農家の高品質な果実生産と果樹産地の維持発展
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
市場関係者 果樹(ブドウ、立木)を生産する農家	本県青果物の生産・流通に貢献した者を表彰し、市場との連携が強化されている。共進会により高品質果実を生産する者を表彰し、生産意欲が高まっている。	本県果樹、野菜産地の維持発展 本県果樹農家の高品質な果実生産と果樹産地の維持発展					
内容	<p>山梨県果実・野菜生産者大会 JA全農やまなし主催の本大会において、生産、流通に貢献した市場関係者を表彰し、市場との連携強化を図ることで本県産の青果物の有利販売により果樹・野菜産地としての維持発展を図る。 対象者：卸売会社(前年の本県青果物の取扱金額10位以内で、本県青果物の生産・流通振興に貢献したと認められる卸売会社)個人(卸売会社で組織される流通対策協議会等において10年以上会長の職を務め、本県青果物の生産・流通振興に貢献したと認められる者)</p> <p>山梨県果樹共進会 JA全農やまなし主催の本共進会において、高品質果実を生産した者を表彰し、果樹農家の生産意欲を高め果樹産地の維持発展を図る。 対象者：果樹(ブドウ、立木)農家(栽培面積10a以上、樹齢5年生以上のほ場において、高品質果実を生産する者で、かつJA組合長が推薦する者)</p>						

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	目標	4	4	4	4	4	4	4
	実績(見込)	3	3	4	4	3	4	
	達成率	75.0	75.0	100.0	100.0	75.0	100.0	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		18	18	19	19	19	19	19

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	<p>目標4名に対して実績3名となっているのは、の表彰者(個人)は、該当者がいる場合のみ表彰しているものであるため、達成率が低いのはやむを得ない。その他の表彰は、当初計画どおり実施しており、予定どりの実施状況であった。</p> <p>各表彰の啓発指導を実施したことにより、市場との連携強化や果樹農家の栽培技術や生産意欲の向上が図られた。その結果、平成28年山梨県農業生産額は果実が53,624百万円(前年比8.4%)、野菜が14,429百万円(前年比17.6%)と増加した。</p>
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	表彰制度を周知・PRすることで、制度の理解を深め市場との連携強化や果樹農家の栽培技術、生産意欲の向上を図る。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (県は、県知事賞に対する支出事務や果樹共進会の園地審査等を行うものであり、事務処理面において見直す事項はない。)
その他	説明	
見直しの必要性	無	本県果樹、野菜産地の維持発展や果樹農家の高品質な果実生産と果樹産地の維持発展に向けて、引き続き、当表彰制度が必要である。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。